

第35回 国立市健康危機管理対策本部会議記録	
日時	令和4年8月3日（水）15時00分から15時40分
場所	市役所2階 市長公室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、馬橋子ども家庭部参事 大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)、 中島基盤整備担当部長、橋本教育次長、内藤議会事務局長
付議事項	(1) 都内・市内の状況について ①東京都の状況（資料No.2～6） ②市内の状況 (2) 自宅療養支援室の対応について (3) 市の対応 (4) その他 ①消防機関からの情報提供 ②市長メッセージ
主な内容	(進行：大川健康福祉部長)
1 議 題	(1) 都内・市内の状況について（橋本健康まちづくり戦略室長） ①都内の状況(資料No.2～6) ・感染状況は「感染が拡大している」と分析されている。 ②市内の状況 ・7月の感染者数はトータル2000名を超え、20代までの若年層の感染が目立つ。  (2) 自宅療養支援室の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長） 1日20～30件の相談であるが、濃厚接触者が買い物可であること、委託業者による配達を開始されて、落ち着きつつある。  (3) 市の対策について（大川健康福祉部長） 自宅療養支援室及び保健センターの全庁的な応援体制の整備  (4) その他 ①消防からの情報（松平防災安全課長） 病院への搬送時間がかかりかかっている、搬送件数が少なくなるほどである。 ②市長メッセージについて 最近、市長メッセージがないため、夜間接種や予約なし接種なども含め、メッセージの配信に対応する。
2 本部長指示及び対応方針について	市役所の業務を維持するため、職員が感染しないように最低限の努力をするしかない。 他部署への応援等もあり、相当無理が来ていることはわかっているが、切羽詰まった市民の感情、状況を考えると、なんとか協力して頑張っていくしかない。

以上